

当初設計書		設 計		精 算
起工番号	企下整委 第 27 号	履行期間	令和08年03月24日迄	
会計年度	令和 7 年度	単価世代	令和07年11月01日 公共	
事業名	公共下水道事業	諸経費率	下水道委託 令和07年07月	
業務名	下水道管理支援システム施設管理情報データ整備業務			
設計部課名	上下水道部下水道整備課			
業務場所	久留米市 下水道整備課 内			
設 計 の 概 要	(当初設計) (補助委託費) 竣工図データ入力(PDF)既存システムへ登録 2,050ファイル 取付管台帳データ入力(PDF)既存システムへ登録 8,161ファイル			

業務委託料内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
設計業務	1	式				
直接原価	1	式				
直接原価(積上)	1	式				
下水道管理支援システム施設管理情報 データ整備	1	式				
打合せ	1	式			単1号	
資料入手・整理・精査	1	式			単2号	
竣工図データ入力(PDF) 既存システムへ登録(紐付け)	2,050	ファイル			単3号	
取付管台帳データ入力(PDF) 既存システムへ登録(紐付け)	8,161	ファイル			単4号	
直接原価計	1	式				
その他原価	1	式				
業務原価	1	式				
一般管理費等	1	式				

業 務 委 託 料 内 訳 書

費 　目 　・ 　工 　種 　・ 　種 別 　・ 　細 　目	数 　量	単 　位	单 　価	金 　額	明細単価番号	基 　　準
設計業務価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

下水道管理支援システム
施設管理情報データ整備業務

特　記　仕　様　書

令和　7年　11月

久留米市企業局　上下水道部　下水道整備課

下水道管理支援システム施設管理情報データ整備業務 特記仕様書

1. 業務概要

本業務の概要は次のとおりである。

(1) 目的

本業務は、下水道管理支援システム（オリジナル設計株式会社開発のシステム、以下「システム」という。）に管路施設に関する情報を蓄積し利用することで、日常的な施設管理業務の効率化のみならず、新規整備・維持管理・改築を一体的に捉えて下水道事業を持続可能なものとするものである。

(2) 施設管理情報データ整備基準

竣工図データおよび取付管台帳データの整備にあたっては、ファイルの整備方法を十分に理解し作業を行うものとする。また、資料に不明点、疑問点等が発見された場合は、市担当者と詳細に打ち合わせ、適切な解決方法を提案できるように配慮する。

(3) 業務の対象

竣工図データ入力(PDF)2,050ファイル
取付管台帳データ入力(PDF)8,161ファイル
※竣工図および取付管台帳ファイル(PDF)をシステムへ紐づける業務

(4) 履行期間

契約締結日の翌日から令和8年3月24日まで

(5) 履行条件

作業は市で運用中のシステムを貸与したもので行う。システムをインストールするPCは受注者で準備を行う。インストールするPCのOSは“Windows10Pro”以上とする。業務終了後、受注者は貸与したシステムをアンインストールし、これを監督職員にて確認する。

2. 業務内容

本業務の実施項目及び実施方法は次のとおりである。

(1) 準備・打合せ

本業務を行うにあたり、作業が速やかに進行するよう打ち合わせ・協議し、作業計画・作業手法・作業工程・使用機器・作業担当及び責任者を明確にし、作業が円滑に行われるよう準備する。

(2) 資料の入手・整理、精査

本業務において、必要な資料を入手し、整理する。また、これらの資料を精査し、不足データ、不明点等の有無を調査し、不足、不明個所等がある場合には市担当者と協議し、他の資料により補足することとする。

(3) 竣工図ファイルおよび取付管台帳ファイルの登録(紐づけ)

入手した竣工図ファイルおよび取付管台帳を登録する対象施設を確認し、ファイルの紐づけを行う。

※作業は運用中のシステムを貸し出す。

3. 成果品

本業務の成果品は、以下の通りとする。

(1) 電子データ

1) システムインストール用データベース

※形式については、担当者と協議の上、決定する。

2) チェックリスト (Excel形式)

4. 暴力団排除に関する事項

受注者は、当該業務の履行に当たって次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 暴力団から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督職員に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い、捜査上必要な協力をを行うこと。
- (2) 暴力団等から不当要求による被害又は業務の妨害を受けた場合は、その旨を速やかに監督職員に報告するとともに、所轄の警察署に被害届けを提出すること。
- (3) 排除対策を講じたにもかかわらず、業務に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督職員と工程に関する協議を行うこと。

5. 暴力団排除に係る下請契約に関する事項

受注者は、当該業務の下請施工に関して、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 下請契約（二次以降の下請契約を含む）の相手として暴力団等と関係のある業者を選定してはならない。なお違反した場合は、指名停止措置および下請契約の解除を求める場合もあること。
- (2) 下請契約を締結するときは、受注者は、下請負人から「誓約書（下請負人用）」を提出させ、その写しを監督職員へ提出すること。

以上

契約に関する特記仕様書

(余裕期間)

- ・本業務委託の工期は、契約締結日の翌日から令和8年3月24日迄であるが、業務着手前の余裕期間10日間を含んでいる。
- ・余裕期間内は、原則として着手しないものとするが、監督員との協議により着手することもできる。この場合において着手とは、管理技術者が設計業務等の実施のため監督職員との打合せを行うことをいう。
- ・テクリス登録は、余裕期間終了日までに行うこと。ただし、余裕期間内に着手する場合はその前日までに行うこと。

(着手届)

- ・着手届は、余裕期間経過後7日以内に提出すること。ただし、余裕期間内に着手する場合には、その前日までに提出すること。
- ・工程表は、着手届と合わせて提出すること。
- ・工程表には、余裕期間を表示すること。

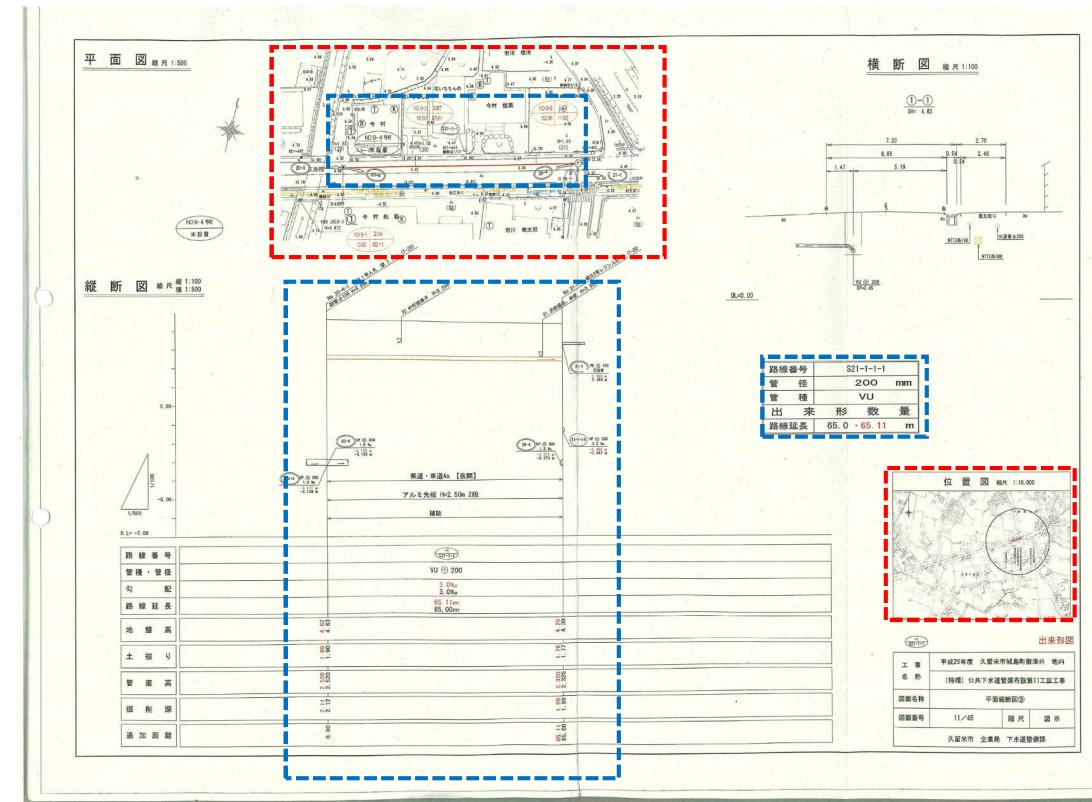
① 資料確認

①-1: 資料確認

提供されたPDFを開き、以下の内容を確認する。

- ・工事位置（赤枠）
- ・出来高数量（青枠）

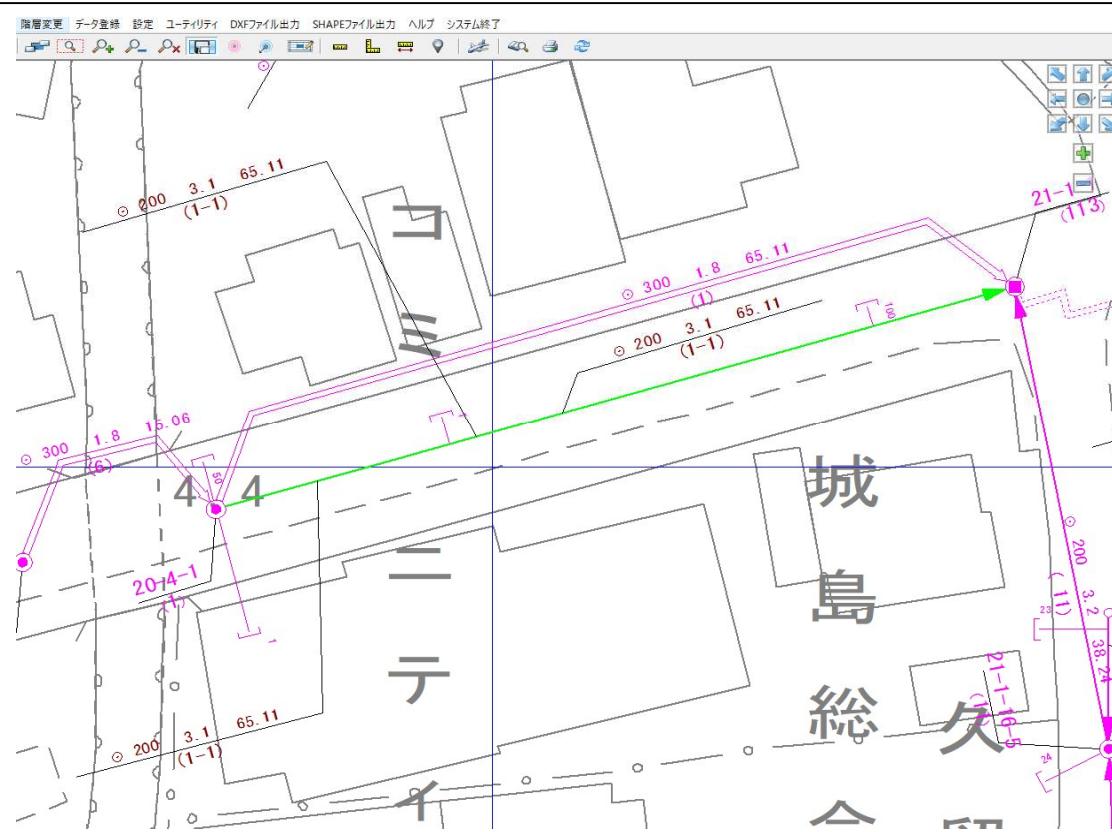
※例：管渠 N=1 スパン
取付管 N=2か所



② システム登録

②-1: 位置の検索

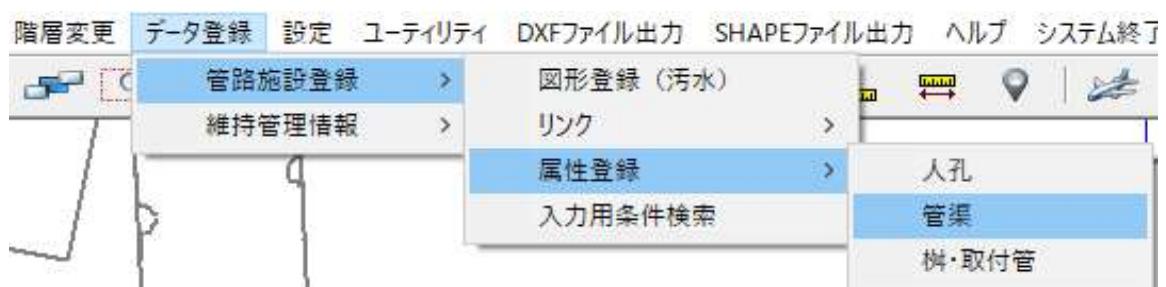
上記①の工事位置をシステム上で確認する。



②-2: データ登録

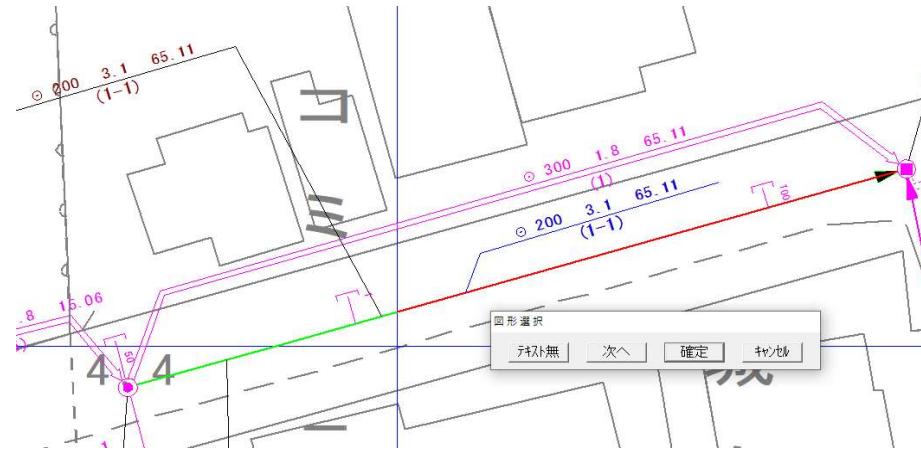
システム上部、

[データ登録]-[管路施設登録]-[属性登録]-[※各施設]
をクリック



①-1 「・出来高数量」で確認した施設をクリック

※右のメッセージが表示された場合は、該当する注記が
青になっていることを確認し確定をクリック



画面右下の図面ボタンをクリック

管渠データ登録

下水区分	1 活水	勾配	8.1 ‰	幹線流域	
下水道区分	2 特定環境保全公共下水道	上流管底高	2520 m	管基盤区分	
処理分区	1 久留米市	下流管底高	2320 m	圧送管区分	
図面番号	999 不明	上流土被り	1.893 m	呼び径	mm
管番号	13532	下流土被り	1.763 m	内法下幅	mm
路線番号		上流地盤高	4.82 m	内法高	cm
上流接続区分	1 入孔	下流地盤高	4.29 m	外法高	cm
上流ID	S-18532-001-1	管工法		管渠端末	
下流接続区分	1 入孔	新線枝線区分	3 枝線	新管区分	<input type="checkbox"/> (新管 v)
下流ID	S-18523-113	起点区分	<input type="checkbox"/> (起点管 v)	新管材質	
管種	3 硬質塩化ビニル(薄肉)片 v	補助管区分	<input type="checkbox"/> (補助管被り v)	新管管径	mm
管形状	1 円形	伏せ越し区分	<input type="checkbox"/> (伏せ越し有り v)	管理引継年月日	
管径1(径×幅)	200 mm	費用区分	2 補助	済工有無	
管径2(高さ)	mm	副管区分		副管高さ	cm
管径3(上幅)	mm	竣工年度(以降)	H29	副管径	mm
管厚1(下)	6.5 mm	竣工年月日		地盤面積	m ²
管厚2(側)	mm	管渠機能		光ファイバ有無	
管厚3(上)	mm	設置場所住所		工事店	
上流減長	0.45 m	道路種別	2 县道	備考欄	
下流減長	0.60 m	道路管理者		廃止	<input type="checkbox"/> (廃止 v)
区間延長	65.11 m	舗装種別	3 アスファルト	入力管理コード	
管渠延長	64.06 m	工事番号	平成29年度(特保)公共下水道	登録	<input type="checkbox"/>
		供用開始年月日		閉じる	<input type="checkbox"/>

以下登録する図面を選択し、保存手続きを行う。